

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

< 認知症対応型共同生活介護用 >

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671200301
法人名	有限会社 ウェルネスさがえ
事業所名	グループホーム あしたば
訪問調査日	平成 20年 10月 15日
評価確定日	平成 20年 12月 10日
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー

#### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	671200301		
法人名	有限会社 ウェルネスさがえ		
事業所名	グループホーム あしたば		
所在地 (電話番号)	寒河江市大字西根字石川西 294-3 (電話) 0237-83-1622		
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形市檀野前13-2		
訪問調査日	平成20年10月15日	評価確定日	平成20年12月10日

## 【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月3日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	7.8 人

## (2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	1 階建ての 階 ~	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,600又は47,120 円	その他の経費(月額)	350円 / 日、他実費
敷金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 50,000 円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	800 円	

## (4) 利用者の概要(10月1日 現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低	67 歳	最高	90 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	寒河江市立病院
---------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>建物を一步出ると、周囲には畑や果樹園が広がり、今は、ふじりんごが日々色付いてきており、散歩道に沿っての小川には、カモ達が数羽仲良く、ゆったりと楽しそうに羽を伸ばし、まるで「あしたば」を語っているようです。またホーム独自の理念の中では、あえて目立たず一般家庭に添った考えで、いつも利用者の立場に置きかえての行動や声掛け等を心掛けています。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域の中で自然に支えあう関係づくりを築きながら、家庭的な雰囲気を壊さないよう理念を見直し、職員全員で作上げ日々のサービスの中に活かしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全員で自己評価に取り組み、評価の意義を確認しながら、常に利用者の立場を考慮し、サービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>会議は2ヶ月に1回開催され、現状報告を中心に話し合わせ、利用者代表をはじめとし、参加メンバーからは、質問も多く、より良いサービスが提供できるように取り組んでいる。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>意見箱は設置されていますが、これまでの利用はなく、面会時に、いつでも何でも言ってもらえる雰囲気作り心がけており、意見要望については、定期的な常会において、聴く機会を設けそれらを反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内行事の一斉清掃には、時間帯に無理があり、その分日中に会長さんの許可のもとで、街路樹の草取りに精を出したり、また地域の文化祭に出品時には、事業所のパンフレット等を用意し、交流のひとつとしている。</p>

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自分達を常に利用者の立場に置きかえ、物事を考え、行動をしながら利用者の気持ちを大切に、笑顔を何よりの喜びとし、理念を作りあげている。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者自ら筆をとった理念をホールに掲示し、「自然体で」を日々心がけて共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内行事の一斉清掃には時間帯に無理があり、その分日中に会長さんの許可のもとで、街路樹の草取りに精を出したり、また地域の文化祭に出品時には、事業所のパンフレット等を用意し、交流のひとつとしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員で自己評価に取り組み、評価の意義を確認しながら、常に利用者の立場を考慮し、サービスの質の向上に努めている。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回開催され、現状報告を中心に話し合わせ、利用者代表をはじめとし、参加メンバーからは、質問も多く、より良いサービスが提供できるように取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当窓口には、ホーム長自ら、週に1~2回足を運ぶようにしており、提出物も郵送ではなく、届ける事を主に、できるだけ顔を出すことを心掛け、関係作りを図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族面会の回数が多く、職員は利用者担当制でなくフリーとし、面会時には間に入っの、日頃の状況報告を中心に、個人々に合わせた関わりに努めている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱は設置されているが、これまでの利用はなく、面会時に、いつでも何でも言ってもらえる雰囲気作りを心掛けており、意見要望については定期的な常会において聞く機会を設け、それらを反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	担当者は決めず全員で関わり、全員での目が届くように心掛けており、そのメリットとして、同じ目線で見られ、公平に接する事ができると同時に、職員も利用者から同じように見られている事を忘れないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会は年間予定表があり、随時希望も取り入れられている。研修報告は、記録簿を基に職員全員が目を通し、意識を高める取り組みをしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホームの交換実習を積極的に取り入れ、他事業所より椅子足カバーの利用法を学んだり、交流を図りながらサービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> 馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	伝統行事としての笹巻き作りや、だんご木にだんご刺し、頂いた枝豆を使っの、ぼたもち作りがとても人気があり、利用者から教えてもらいながら、生き活きとした場面作りに留意し、共に過ごし支えあう関係が築かれている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴を把握し、利用者一人ひとりに添って、日々の会話や表情を見ながら、気づきを共有し取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人は勿論、家族の面会時に意向を確認しながら、職員全員で情報を共有し、本人がよりよく暮らし続けるための計画作成に努めている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が無い場合の見直しは月に1回行われており予防的計画のひとつとして、計算できる方(得意)にしてもらったり、本を読んでもらうなど、頭を使うことを考慮し、現状維持を保つための工夫をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	入所前からのかかりつけ医と情報交換をしながら、受診 結果に関する情報も、職員間で共有されており基本的 に継続して受診できるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	契約の段階で、進行した場合を考慮し、特別養護老人 ホーム申込み等の説明は行なっている。開設から今 日まで、2名の方へ、終末期までの関わりがある。これ までの経験等を生かし、さらなる技術習得への意欲が 見られる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	日々の関わりの中で、常に利用者の立場に置き換えて の対応を全員で心掛けている。また書類は保管場所に 整理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活の流れの中で、小さな変化に気づ き、職員全員で共有し、日々の申し送りを、細やかにさ れており、利用者の希望に添った支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみにつなげる為にも、「今日は 作るよ」と声掛けし、ゆっくりと時間をかけて、各自が出来る事への参加となる。また菓子パンの種類を増やし、パンバイキングの日もあり、楽しい食事のひとつになっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯に柔軟性を取り入れ、利用者によっては、毎日でも可能、足浴もあり、利用者ペースで行われている。また入浴拒否傾向の方には、タイミングを見て声かけ等に工夫をしながら、入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌の好きな人には歌ってもらい、他の利用者は、自分で出来る手拍子に参加したり、また花を生ける人、それを眺める人と、日々の生活の中で、場面作りに心がけている。マンネリ化を防ぐ為にも、散歩やドライブ、草取り等の楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	これまでの在宅生活の継続として捉え、利用者の行き先を見守りながら常に危機管理を考慮し、気分転換やストレス発散等を図れるよう、外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者が外出しそうな様子を察知し、一人ひとりの癖や、外出傾向を把握し、先を予測しながら、常にアンテナを張りめぐらし、職員間での、情報を密にし共有を図っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣りに消防署があり、とても心強いが出勤時のサイレンで、数名の方が覚醒してしまうこともある。また災害に備えての備品として、懐中電灯や手動式ストーブ等を準備している。		隣接されている消防署を始め、町内会との連携や協力体制を築き、地域の方と一緒に防災訓練をしたり等、具体的な防災対策の整備に取り組まれることを期待されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自然排便を考慮し、牛乳又はヨーグルトを毎日のおやつ時に、摂取してもらっている。また家族の中に管理栄養士があり、専門的アドバイスをもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって、あくまでも自宅の延長の場ととらえ、フロアの中に畳があり、堀りコタツでのくつろぎと調理台も対面式になっている。、側に立つしきりも死角とならぬよう数ヶ所を飾り台に利用しながらの配慮がうかがえる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、各個人の生活歴が現れており、使い慣れた鏡台を持参したり、書に親しんでいる人の書道が沢山貼ってあったりと居心地の良い居室作りへの取り組みが見られる。		